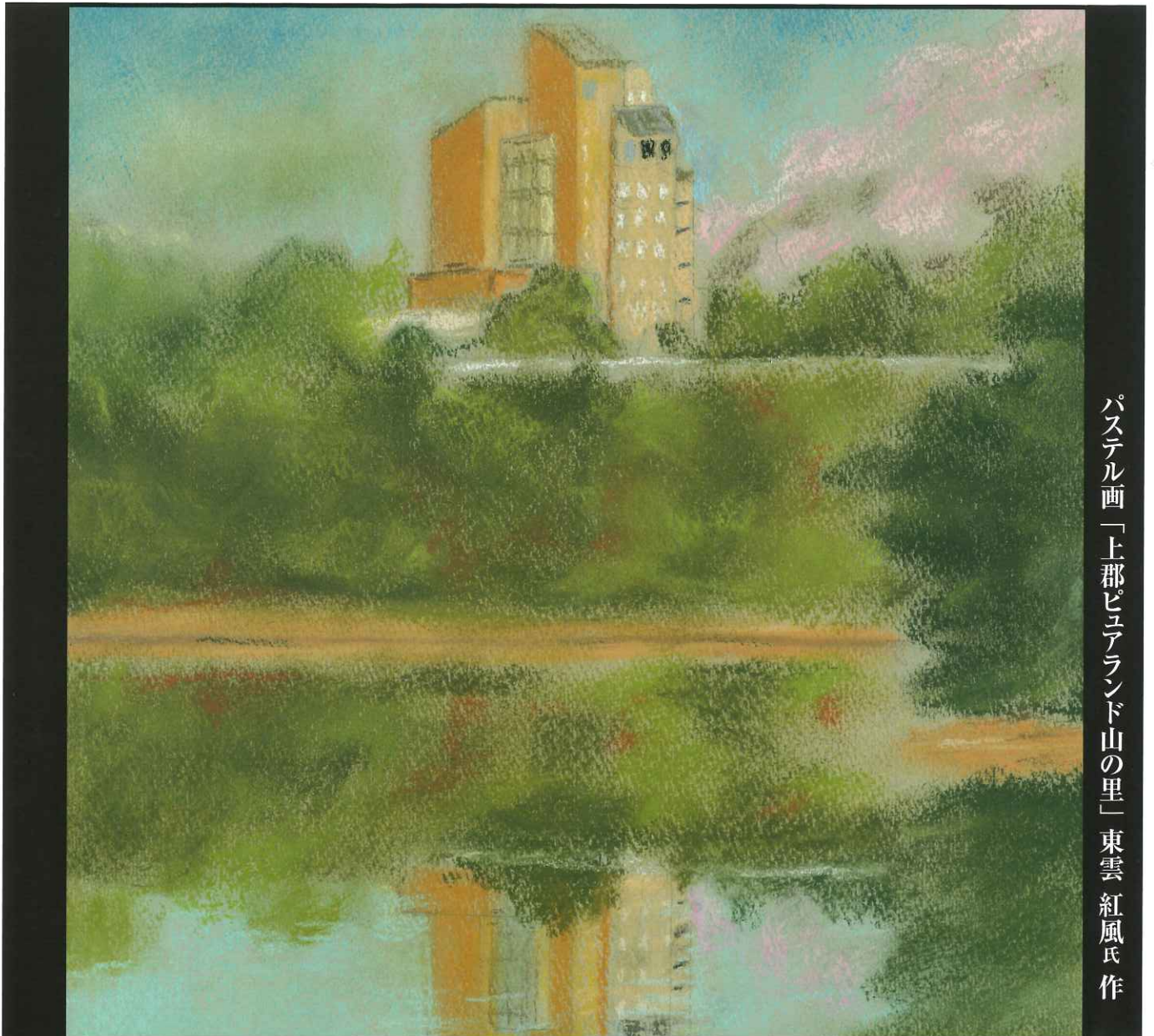


# 小察<sup>さん</sup>

## 相生・上郡



(公社)相生・上郡広域シルバー人材センター 相生市山手2丁目123番地  
TEL 0791-22-4050 FAX 0791-23-3345

ホームページ <http://www.aioikamigori-sjc.or.jp>



パステル画「上郡ピュアランド山の里」東雲紅風氏作

### 安全掲示板

- 積雪・路面凍結時のスリップ事故防止  
- 機械・工具類の定数確認と定位置保管の励行
- 交通ルール及びマナーの遵守
  - ◆飲酒運転・制限速度・一旦停止・譲り合い・夕暮れ時早めの点灯等

### 主な内容

- 年頭挨拶 .....P2~P3
- 事務局便り .....P3~P5
  - ・兵シ協事業推進大会
  - ・視察研修(役員・職員)
  - ・ドライバースクール
  - ・園児との餅つき 
  - ・接遇研修会 
- 親睦委員会便り .....P6
  - ・グラウンドゴルフ大会結果
- 会員の広場 .....P6~P7
  - ・連載手記「ボランティア活動」
  - ・会員の入退会状況
- 年男・年女紹介 .....P8



# 新年のご挨拶

前理事長 山本 肇



新年明けましておめでとうございます。会員の皆さん

にとつて、本年も良い年となりますようお祈り申し上げます。

いよいよ本年は、2020東京オリンピック・パラリンピック開催の年となります。オリンピック開催の年は閏年になります。ただし、100で割り切れる西暦2100年、2000年、2300年などは閏年とはならず、ただ西暦2400年は100で割り切れますが同時に400で割り切れるので閏年となるそうです。

さて、昭和39年(1964年)に東京オリンピックが開催されてから56年が経過することとなります。当時紅顔の美少年であったと自分自身で思っていました私も、今ではすっかり好々爺になってしまった感があります。月日の経つのは、なんと速いことでしょうか。悟りました。今を楽しく、他人に

迷惑をかけないようにこれからも生きて行こうと。

令和2年が皆さんにとつて素晴らしい年となることを希望して、新年の挨拶とさせていただきます。

# 年頭挨拶

相生市長 谷口 芳紀



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様

におかれましては、良い年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は、相生市・上郡町における高齢者の雇用の創出並びに地域の発展のためご尽力を賜り衷心より感謝申し上げます。

さて、我が国におきましては、高齢化率が世界最高の28・4%となっております。約4人に1人が65歳以上という「超高齢社会」を迎えております。2030年には、3人に1人が65歳以上になると推計されており、少子高齢化が急速に進むこととなります。このような中で、地域社会の活力

を維持していくためには、働く意欲のある高齢者が活躍できる「生涯現役社会」の実現が重要であります。

そのためにはシルバー人材センターの果たす高齢者の社会参加の促進や生きがいのある生活の実現という役割は、より一層重要なものとなっております。

私も、皆様方のお力を頂戴しながら、相生市の発展のため、誠心誠意努力してまいりますので、皆様の一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様にとりまして本年が実り多き年となりますよう、そして、会員皆様のご健康、ご多幸を祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

# 新年のごあいさつ

上郡町長 遠山 寛



明けましておめでとうございます。会員の皆様

には、令和になりましたことと心よりお慶び申し上げます。初めての新春を清々しくお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。平素は、高齢者の雇用の創出と地域の

発展のためご尽力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、昨年は、10月の台風19号をはじめ、特に関東甲信地方において、大雨や強風による被害が多発し例年にも増して自然の脅威を目の当たりにした一年でした。被災された多くの方々に、追悼の意を捧げますとともにお見舞いを申し上げます。

上郡町では、異常気象等により災害の危険性が高まる中、高齢者や障がい者等の災害時要援護者への充実をはじめ、防災対策の推進に取り組んでおります。

また、高齢者の方々が、地域社会で活発に活動できるように「高齢者が元気で生き生きと暮らせるまちづくり」を重点施策のひとつに掲げ、地域の見守りや子育て等に積極的に関わってもらえるまちづくりを進めておりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、シルバー人材センターの益々のご発展と、会員をはじめご家族の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。





新年を迎え会員皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます

- 副理事長 松本 優
  - 常務理事 森川 順天
  - 理事 大石 泰男
  - 理事 大西 真悟
  - 理事 河本 洋
  - 理事 高根 勝三
  - 理事 西崎 健一
  - 理事 松本 愛子
  - 理事 松本 正典
  - 理事 宮崎 正行
  - 理事 山下 光章
  - 理事 山本 典子
  - 監事 小田 恵子
  - 監事 小谷 満
  - 監事 福永 剛
  - 事務局 職員 一同
- (五十音順)

### 事務局便り

#### 【兵シ協事業推進大会】

令和元年度、兵シ協事業推進大会は10月30日(水)、神戸新聞・松方ホールで開催され、当センターから職員4名、会員3名が参加しました。式典会場のロビーでは例年同様各センターから手芸品や農産物等の展示即売で賑わっておりました。

また、西宮市シルバー人材センターによる「会員増強への取り組みと今後の課題」について事例発表、続いて、兵庫警察本部による「特殊詐欺の被害防止対策について」の講演があり



ました。表彰式では、会員表彰に7名の方が表彰されましたのでご紹介いたします。

▼会員15年表彰(7名・敬称略)  
大崎 浩・小野 館明・北川 昭男  
佐野 勝・三浦 一子・山本 浅吉  
渡辺 啓風

受賞された皆様、誠にありがとうございます。これからも今までの経験を活かし、当センターでの活躍を期待いたします。



受賞された方々 (左から・敬称略)  
山本浅吉・北川昭男・佐野勝

#### 《役員視察研修》

11月21日(木)、造船と旧軍港と坂の町長崎県佐世保市SCを訪問しました。

冒頭、佐世保市役所に上郡町出身の方が在籍との紹介があり和気あいあいの雰囲気が始まりました。

種々活発な意見交換がなされましたが、主に、「事業運営の効率化と財政基盤の安定化」の項にかなり突っ

込んだ議論がなされました。なかでも諸事情があるにせよ、佐世保市SCが「シルバー改革」と銘打ち相当な覚悟をもって取り組まれたきめ細やかな手法(スクラップ&ビルド)には、感銘を受けました。

佐世保市SCの皆様には深く感謝いたします。



写真(上)当シルバーのメンバー、(下)佐世保市SCの方々





【職員視察研修】

10月18日(金)、役員3名、職員11名は、熊本県人吉市シルバー人材センターを訪問しました。



人吉市シルバー人材センターは、会員357名、うち女性会員が47%(当センター24%)と大変高い構成比となっています。女性会員の増加の要因は、新・令和の会として「女性会員の集い」、「お城まつりのパレード」への参加、手芸、フラダンス、菊づくりなどのサークルや愛好会があり、女性が活躍できる場を提供しているとのこと。また、商店街の空き店舗を利用し、会員が自主制作した小物や季節の野菜を販売する「シルバー憩いの店」を開設し、シルバーのPR、会員募集、高齢者の憩いの場所の提供など

も行い、地域商店街の活性化に貢献していました。

このほか、毎月初めに就業前(認定、草刈)の早朝安全大会の実施、派遣事業増加への取組み等の説明がありました。

今回の研修で学んだことを、是非当センターの事業に活かしていきたいと思えます。

【秋季剪定講習会】

秋季剪定講習会は、10月10日(木)、兵庫県シルバー人材センター協会との共催で「高齢者活躍人材確保育成事業」として、相生墓地公園において実施しました。

今回は、春季講習会を受講した29名のうち21名が参加し、実技を中心に行いました。

講師は、春季講習会同様の造園業石樹園・松本堅氏(取締役会長)、社員2名による松の剪定・一般樹木の樹形づくり・トリマーの安全な使い方



方を3班に分かれて指導を受けました。松の剪定では、

「こもの巻き方」を教わりましたが、この「こも巻き」は、虫が寄ってくるのであまり勧められないとの事でした。



生け垣の樹形は、下へ行くほど広がるように剪定すると見栄えが良い。生け垣の剪定時「あゆみ板(足場板)」の使用は危険であるので、脚立を使用し、その都度移動するよう指導がありました。

講習会終了後、参加者全員に終了書を授与しました。

一般受講者が一人でも多く当シルバーに入会し、就労されることを期待しております。

『ヘルパー視察研修』

ヘルパー室 渡邊 民子

10月27日(日)、ヘルパー、事務局20名は、大阪市・南港にある介護関連の常設展示場AJC(エイジレスセンター)を訪問しました。

はじめに、電動車いすの体験をしました。従来の車いすは、スロープを下りる時、介助者と共に後ろ向き

で下りま

すが、電

動車いす

では、ハ

ンドルの

ボタン操

作でブレ

ーキを制

御するの

で、車い

すと介助者共前向きになるので安全

に下りることが出来ました。

次に、高齢者疑似体験コーナーでは、脚に装具を付けて階段やスロープを歩行したが、前のめりになり歩き辛い、お年寄りの動きの不自由さを知ることが出来ました。

そのほか高さを自由に調節できる介護用ベッド、簡易型昇降便座など興味のある物が多くありました。

今日は、年齢やハンデイに関係なく誰もが豊かな人生を送るために開



発された製品を見学し、大変勉強になりました



《もみじまつりに出店》

「2019 羅漢の里 もみじまつり」が11月10日(日)、矢野町羅漢の里で開催されました。当日は、晴天に恵まれ、多くの人出で賑わいました。当シルバーの役員、会員17名は、焼き芋、海産物の販売と観察会、環境改善グループのEMぼかし(肥料)、液体石鹸、畑のガードマン波動活性液の販売とEM石鹸の無料配布をしました。

観察会では、子どもたちに多様な生き物が生活する海の大切さを知ってもらうため、チリメンジャコ(カタクチイワシの稚魚)に混じっている「チリメンモンスター(魚、エビ、カニ、タコ)の子ども等の生き物」を探しを行いました。

観察会は、子どもだけではなく親もチリメンモンスター探しに一生懸命でした。また、入り口では、来場者に「ゴミの



持ち帰り運動」を呼びかけながら、ゴミ袋の手渡しを行いました。

『ドライバーズスクール』

本年度2回目のドライバーズスクールのドラバースクールは、11月16日(土)、相生自動車教習所において、会員19名の参加で実施しました。



はじめに、セーフティサポーターの同乗体験です。走行中にわき見や意識を無くし、障害物に気が付かなかった時、自動的にブレーキが作動するシステムで、障害物手前約30cmで停止しました。

サポーターブレーキでは、発進時、ブレーキとアクセルを踏み間違った時、障害物に衝突する場合の待避行動を経験しました。ただし、この作動はあくまでも瞬間的(3秒程度)に作動する機能です。

その後、参加者全員が一時停止、見通しの悪い交差点での運転実技を教習所指導員が同乗して行いました。最後に、教習所所長から、サポーターカーは全て万能ではなく、運転者

のサポートをする機能であって、過信をしてはならない。また、「だろー・」運転は絶対にならないよう、強く忠告をされていました。

【接遇マナーの研修会】

11月28日(木)、窓口業務に就業する会員を対象に「より良い接遇マナーの向上」を目的とした研修会が開催され、会員36名が参加しました。講師に岡田房子氏を招いて、接遇マナーの基本を教えて頂きました。

内容は、「おもてなしの心」を持つことが大切です。電話対応やお辞儀の仕方、言葉遣いなどロールプレイング(役割演技)を交えながら楽しく学ぶことができました。



例えば、「ちよっと待ってやー」を、丁寧な言葉に言い換えると「少々お待ちください」になります。丁寧な言葉を使うよう意識することで良い関係を築く一歩になることに気付かされました。今回の研修会で学んだこと

を活かし、常に「おもてなしの心」を意識し良い人間関係を築きましよう。

【園児との餅つき交流会】

11月29日(金)、市立山手幼稚園(三浦久美子園長・園児70名)のふれあい餅つき大会に当センターから、10名が参加しました。

この交流会は、平成25年11月に始まり、今回で7回目となりました。餅つきは、3基のうすを使って30kgの餅をつき手、ませ手とシルバーパワーを発揮し、園児達は交代で10回づつ、杵の音を響かせ「よく頑張ったね!」と、お互いの声援と、「ありがとう」の感謝の言葉に笑顔がこぼれ、和やかな交流会となりました。





### 親睦委員会便り

### グラウンドゴルフ大会

第14回グラウンドゴルフ大会は10月13日(日)、相生市中央公園グラウンドにおいて開催し、相生・上郡地区の会員36名が参加しました。大会は、当初予定していた12日(土)が、台風19号の影響により翌日へ順延となり、参加者も16人の減となりました。

競技は、参加者が少なくなりましたが、



たが、和気あいあいと会員同士の親睦を図ることができました。

#### ◎成績は次の通りです。(敬称略)

#### ◆女性の部

優勝 玉田 清美 スコアー 43

2位 東雲ケイコ " " 47

3位 田中詩奈子 " " 49

#### ◆男性の部(上位5位まで掲載)

優勝 岡田 洋一 スコアー 36

2位	大森 忠夫	"	40
3位	大和 俊文	"	40
4位	東雲眞沙美	"	42
5位	川口 昭好	"	42

### 会員の広場

#### 『連載手記』

#### 「私のボランティア活動」

#### 〈第一回・災害ボランティアに参加〉



大上 節弘

「自分一人の力など大したことはない」と思っていた。しかし、

上郡町社会福祉協議会(社協)の声掛けで「東日本大震災」から始めた災害ボランティア活動は、その後、毎年のように起きる自然災害の復旧・復興活動へと範囲も広がった。

宮城県東松島市、和歌山県那智勝浦町、熊本県阿蘇市で震度7の大震災を2度受けた益城町はじめ、京都、淡路、徳島、岩手、福岡等へ仕事の都合をつけて、県・各市町の社協公募ボランティアの参加は16回を数える。

昨年の西日本豪雨災害では、岡山県倉敷市真備町などへ5回訪問した。



被災地や被害者の実情は、新聞や

テレビで見ただけでは分からないことが多く、現地へ入ると悲惨さを直に身で感じ、何より「人のつながり」の重さ、特に災害時の「近隣への声掛け」の大切さを肌で感じた。

私は、活動の記録をその都度残しているが、それほど強く揺るぎない信念は何処から来ているのか尋ねられることがある。

私は幼いころ、顔に負っ

#### 【就業相談の開催について】

現在、未就業、または職種の変更を希望される方は、是非ご相談ください。開催日は、次のとおりです。

開催月	開催日・時間	
	15:00~	13:00~
2月	4日	26日
3月	10日	25日
4月	7日	28日
5月	12日	27日
6月	9日	24日
7月	7日	29日

・場所 所属事務所(相生または上郡)



た二度の火傷と小学5年生の時学校から帰ると集落18軒の内9軒が焼失した大火災があり、残ったのは自分が背負ったカバンだけだったという経験をしました。

そんな試練があったからこそ痛みが分かる今の自分があり、温かく寄り添えることが出来、今、ボランティア活動に参加できるのであるとうちは思っています。

(つづく)



### 令和元年度安全成績

(令和元年4月1日～11月末)

	安全目標	結果
重篤災害件数	0件	0件
一般災害件数	3件以下	4件
休業日数	120日以下	44日
物損事故件数	5件以下	8件
(飛び石事故件数・内数)	0件	4件

**事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな！**

### 「表紙のことば」

『森と水の宿』

『ピュアランド山の里』

上郡町の研修センターとして、平成7年4月にオープンし、現在は町民等の憩いの場として利用されています。

展望風呂からは、上郡町が一望できます。

また、隣接の桜園では、毎年桜の花見で賑わいます。

東雲 紅風

## 会員の入退会状況

令和元年9月1日～11月30日

**【新入会員】** 相生9名・上郡 5名 合計 14名 (敬称略)

### 《相生地区》

大川 弘明・岸本 広三・小玉 和男・高見 邦男・丹下 玲司・中川 久男・福住 辰次・二見 玲二  
義本 博文

### 《上郡地区》

田中 純子・谷本 隆敏・田村 敏彦・細川 康子・丸山 暁

**【退会会員】** 相生 9名・上郡 6名 合計 15名 (敬称略)

### 《相生地区》

入江 照子・北本 勝・熊岡 典彦・佐藤 洋子・壺阪 三枝子・中野 美夜子・永橋 隆・野中 雄公  
三浦 康雄

### 《上郡地区》

河内 芳男・中本 あや子・藤井 満子・松下 修・山本 勝巳・能野 芳次

**【在籍会員数 (人)】**

相生地区	上郡地区	全体		会員合計
		男性	女性	
531	110	490	151	641

### 令和元年度確定申告のお知らせ

**【受付期間】**

令和2年2月17日(月)～

3月16日(金)(土・日除く)

**【相談会場】**

◎相生税務署(23・0231)

★還付申告は、2月14日(金)以前でも可

★住民税申告は、受付できません。

◎相生市(23・7128) および、

上郡町(52・1113)の会場は、

各市・町の広報紙で確認して下さい。

**【公的年金等受給者の申告方法】**

◆次の①・②の両方に該当する場合は、所得税の確定申告は不要です。

① 公的年金等の収入金額の合計額が、**400万円以下**

② 公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が、**20万円以下**

◆例えば、配分金の収入金額が**85万円以下**の場合が該当します。

★①と②の両方に該当する場合でも、所得税の還付を受けられる方は、確定申告書の提出が必要です。

◆所得税の確定申告が不要でも住民税の申告が必要な場合があります。

◆確定申告書等の作成には、個人番号(マイナンバー)通知カード及び本人確認の出来る書類(自動車運転免許証等)の提示が必要です。





# 年男・年女



【今年の年男・年女は昭和 11 年、23 年、35 年の子年生まれです。】

相生地区 4 1 名、上郡地区 9 名、合計 5 0 名の方々をご紹介します。(敬称略)

## 昭和 11 年(1936 年)

▼ 第 11 回ベルリン五輪において、大江季雄(すえお・22)と西田修平(26)は棒高跳びに出場、朝 10 時に始まった試合は米国の選手と 3 人が競合、夜 8 時米国の選手に金メダルが確定、その後も二人の決着がつかず、大江が先輩の西田に「銀」を譲った。後に西田が「銀」「銅」のメダルはそれぞれ半分に切って継ぎ合わされ「友情のメダル」として永く語り継がれた。

<b>相生地区 3 名</b>	石坂 盈子	川渕 五男	袖山 光雄
-----------------	-------	-------	-------

## 昭和 23 年(1948 年)

▼ 戦災の傷跡が残る横浜に、天才的に歌の上手な少女がいた。横浜国際劇場に出演した 10 歳の少女、芸名・美空和枝は、歌謡曲を歌いこなし、満場の喝采をあびた。その後 40 年間歌謡界のトップの座に君臨した”女王“「美空ひばり」の誕生である。

<b>相生地区 37 名</b>	安藤 幸史	池田 明実	石野 逸雄	泉 多美子	大野 永基	沖 幸一
	貝賀 修一	糟谷 麻子	亀田イク子	川崎 政五	北石 道子	北川 初美
	木下 善満	小嶋 順一	阪田 益江	杉山 由紀	鈴木いそ子	袖山 幸男
	塚原以究雄	津田 重男	堤 るみ子	中津 正志	中濱 信	萩原 敏樹
	平松小夜子	廣田 良和	藤井 敏子	松本 愛子	溝尾 泰蔵	宮城 忠明
	宮谷 哲治	安本 直昭	矢吹 壽雄	山下 修治	山本 典子	吉田 喜光
	若林 成明					
<b>上郡地区 9 名</b>	大上かよ子	末政 浩	田淵 美保	中村 洋一	花井 哲雄	春江 恭一
	藤本 敏和	前田ヒトミ	村上 務			

## 昭和 35 年(1960 年)

▼ 当時の首相・池田勇人は、就任直後、「今後 10 年間で月給を 2 倍にする」と言明。「所得倍增論」を打ち出した。重化学工業化を軸に国民総生産(GNP)を拡大させ、公共投資の大幅な増加、低金利政策等により設備投資意欲を喚起した。その結果 GNP は 5 年後、月給は 7 年後それぞれ 2 倍になった。

<b>相生地区 1 名</b>	川口 哲昌
-----------------	-------

## 編集 後記

新年明けましておめでとうございます。

門松の緑に初春の光が映え、一陽来福を迎えました。

今年は、2020「東京五輪」「パラリンピック」が 7 月 24 日から開催されます。

前回(1964 年)アジアで初めて開催した東京大会から 56 年経っての開催です。選考されたアスリート達は、それぞれに「メダルを狙う!」と明言し、闘志を燃やして日々練習に努力を重ねています。その姿にたくましさを感じ、「がんばって!」と応援したくなります。

私達も、このアスリート達の意気込みに負けないよう「健康づくり」「生きがいくくり」と、今迄に培ってきた経験や技量を生かしながら、「地域に役立つ」ことを目標に、社会参加の中で大いに活躍して行きたいものです。

編集委員会発行 (安西・浦川・濱中・松本・森川)